



明日を提案する管工資材の
ベストパートナーを目指します

平成24年6月1日～平成25年5月31日

第61期報告書

 株式会社 **オークケ**

証券コード：7434

Growing UP 「さらなる成長」



代表取締役社長

音川 富雄

■ 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第61期（平成24年6月1日から平成25年5月31日まで）の決算を終了いたしましたので、ここに営業の概況等をご報告申し上げます。

■ 経営方針

当社は、「信用第一」を信条として、建設設備関連に不可欠な基礎機材である「管工機材」を通じて、マイホームから工業用プラントまであらゆる分野で付加価値の高い商品と高品質なサービスを提供し、また公正な企業活動を通じて社会に貢献することを経営方針とし、次の4項目を掲げております。

1. 株主満足度の向上
2. 顧客満足度の向上
3. 社員満足度の向上
4. 地域社会満足度の向上

この経営方針のもと、専門商社としてユーザーとメーカーの橋渡しをするだけでなく、多様化するニーズにお応えするための情報収集に注力し、サービス・流通の充実を目指します。また、人材育成を通じて企業活力の向上を図り、公正かつ透明性の高い経営を行い、全てのステークホルダーの期待にお応えし、企業価値を高めてまいります。

■ 経営戦略

当社は、付加価値の高い商品と高品質なサービスの提供を基本に、顧客基盤の拡大を図るとともに、業務の効率化・リスク管理の徹底等によるローコスト経営を行い、業容の拡大と収益力強化により企業価値の向上に努め、全てのステークホルダーの期待にお応えするとともに、業界のリーディングカンパニーを標榜いたします。

1. 地域密着型営業活動
全国11拠点をベースに、きめ細かな地域密着型の営業を展

開し、各地域のニーズに即した商品のラインナップ・ジャストインタイムの商品供給を追求いたします。

2. 配送システム

名古屋物流センターを核に全国を網羅した拠点・物流システムにより、スピードとクオリティを兼ね備えた高品質なサービスを追求いたします。

3. 顧客ニーズに即した商品のラインナップ

独立系商社としてあらゆるメーカーの商品を「必要な時に必要なだけ」供給するシステムを整えるとともに、直需部門における一括受注体制や再販部門における「One-StopShopping」体制の強化を図り、併せてお客様のニーズを先取りした商品企画・提案営業を追求いたします。

4. 採算とリスク管理の徹底

全社与信管理システムによるリスク管理の徹底を図ることにより、ロスの発生を最小限に抑え、より採算重視を鮮明にした積極的な営業活動により「強い企業」を目指します。併せて徹底したローコスト経営を追求いたします。

5. システム投資の強化

主要取引先とのEDIシステム稼働の推進等、受発注業務のシステム強化を図り、業務のシンプル化により、効率性の向上を追求いたします。

6. 地域社会への貢献

廃棄物の削減、リサイクル等地域社会とともに環境型社会を目指し、環境保全活動の大切さを全社員に周知徹底してまいります。

■ 営業の概況

当事業年度におけるわが国経済は、東日本における復興関連需要や好調な自動車販売等、緩やかな回復傾向が見られました。また、当事業年度後半には、行き過ぎた円高の修正や株価の上昇等による景気回復への期待が高まっております。

当管材業界におきましては、新規住宅投資が増加傾向にあるものの、民間設備投資は依然として低調であり、不安定な原材料価格や市場の縮小による同業他社間の競争の激化等、先行き不透明な状況が続いております。このような環境のもとで、当社は、新規取引先の開拓や既存取引先でのシェアアップ等営業基盤の拡充に努めてまいりました。

この結果、当事業年度における売上高は222億73百万円（前期比1.4%減）となりました。また、利益面につきましても、売上高の減少により、営業利益は4億13百万円（前期比1.4%減）、経常利益は5億6百万円（前期比3.0%減）となりました。また、当期純利益は法人税等が減少したことにより3億14百万円（前期比5.8%増）となりました。

■ 次期の見通し

次期の見通しにつきましては、円高の修正による企業収益の改善や各種経済対策による公共投資の増加が見込まれ、海外においては堅調な米国経済や、東南アジアにおける経済成長等により景気回復が期待されております。

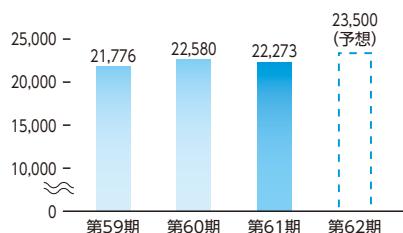
当管材業界におきましては、住宅投資は伸びが見込まれるものの、民間設備投資の今後の動向は不透明であり、引き続き経営環境は厳しい状況で推移するものと予想されます。

このような厳しい環境下、引き続き顧客志向の徹底を図り、新規取引先の開拓と既存取引先でのシェアアップによる営業基盤の強化・拡大を図るとともに、リスク管理の徹底によるロスの排除と、採算重視の受注活動により、利益確保に努力してまいります。

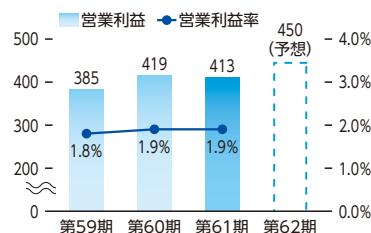
その結果、次期の業績見通しといたしましては、売上高235億円、営業利益4億50百万円、経常利益5億30百万円、当期純利益3億20百万円を見込んでおります。

■ 業績ハイライト

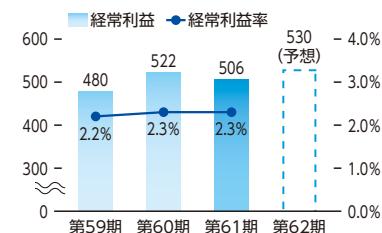
売上高 (単位: 百万円)



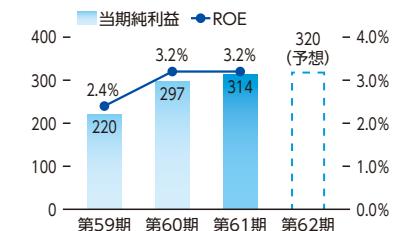
営業利益・営業利益率 (単位: 百万円)



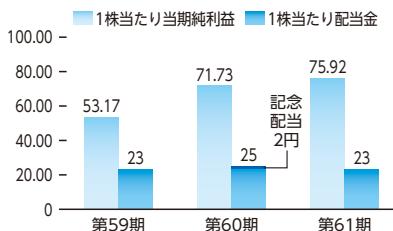
経常利益・経常利益率 (単位: 百万円)



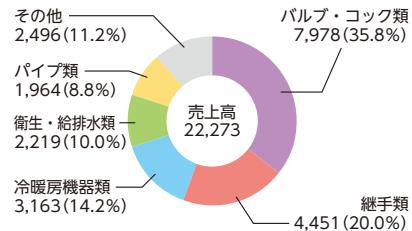
当期純利益・ROE (単位: 百万円)



1株当たり当期純利益・1株当たり配当金 (単位: 円)



商品別売上高構成比 (単位: 百万円)



財務諸表 (要約)

■ 貸借対照表

	当期 (平成25年5月31日現在)	前期 (平成24年5月31日現在)
資産の部		
流動資産	10,238	10,091
現金及び預金	1,389	950
受取手形	3,401	3,873
売掛金	3,766	3,863
商品	1,438	1,342
その他	241	60
固定資産	4,542	4,346
有形固定資産	3,178	3,226
建物	620	650
土地	2,504	2,529
その他	53	47
無形固定資産	1	1
投資その他の資産	1,362	1,118
投資有価証券	1,208	838
その他	153	279
① 資産合計	14,780	14,438

(単位：百万円未満切捨)

	当期 (平成25年5月31日現在)	前期 (平成24年5月31日現在)
負債の部		
流動負債	4,110	4,122
支払手形	2,318	2,118
買掛金	1,497	1,551
その他	294	451
固定負債	749	846
退職給付引当金	540	531
その他	208	314
② 負債合計	4,860	4,968
純資産の部		
株主資本	9,979	9,751
資本金	1,312	1,312
資本剰余金	1,315	1,315
利益剰余金	7,589	7,361
自己株式	△ 238	△ 238
評価・換算差額等	△ 58	△ 282
③ 純資産合計	9,920	9,469
負債・純資産合計	14,780	14,438

■ 財務Point

① 資産

資産につきましては、流動資産合計が102億38百万円となり、前期末と比較して1億47百万円の増加となりました。これは主に売上債権が3億98百万円減少しましたが、現金及び預金が4億39百万円、たな卸資産が96百万円増加したこと等によります。

固定資産合計は、前期末と比較して1億95百万円増加し、45億42百万円となりました。これは主に繰延税金資産が1億24百万円、建物が29百万円、土地が25百万円減少しましたが、投資有価証券が3億69百万円増加したこと等によります。

以上の結果、当期末の資産合計は、前期末と比較して3億42百万円増加し、147億80百万円となりました。

② 負債

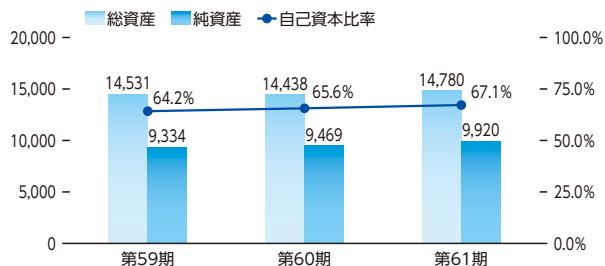
負債につきましては、流動負債合計が41億10百万円となり、前期末と比較して11百万円減少しました。これは主に仕入債務が1億45百万円増加しましたが、未払法人税等が1億4百万円、未払消費税等が27百万円、賞与引当金が20百万円減少したこと等によるものです。

固定負債合計は、前期末と比較して97百万円減少し、7億49百万円となりました。これは主に役員退職慰労金に係る長期未払金（その他の固定負債）が98百万円減少したこと等によります。

以上の結果、当期末の負債合計は前期末と比較して1億8百万円減少し、48億60百万円となりました。

総資産・純資産・自己資本比率

(単位：百万円)



③ 純資産

純資産につきましては、当期末の純資産合計は99億20百万円となり、前期末と比較して4億51百万円増加しました。これは主に、配当金の支払が1億3百万円ありましたが、当期純利益を3億14百万円計上し、その他有価証券評価差額金が2億40百万円増加したこと等によります。

■ 損益計算書

(単位：百万円未満切捨)

	当期 (自平成24年6月1日 至平成25年5月31日)	前期 (自平成23年6月1日 至平成24年5月31日)
売上高	22,273	22,580
売上原価	19,485	19,701
売上総利益	2,788	2,879
販売費及び一般管理費	2,374	2,459
営業利益	413	419
営業外収益	146	145
営業外費用	53	42
経常利益	506	522
特別利益	2	80
特別損失	25	32
税引前当期純利益	483	569
法人税、住民税及び事業税	156	255
法人税等調整額	12	16
当期純利益	314	297

■ キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨)

	当期 (自平成24年6月1日 至平成25年5月31日)	前期 (自平成23年6月1日 至平成24年5月31日)
④ 営業活動による キャッシュ・フロー	571	4
⑤ 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 28	142
⑥ 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 103	△ 95
現金及び現金同等物の 増減額（減少：△）	439	50
現金及び現金同等物の 期首残高	950	899
現金及び現金同等物の 期末残高	1,389	950

■ 配当方針及び配当金

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題として位置づけしており、先行き厳しい経営環境のもと、経営の効率化を図りながら、安定的な配当を維持継続していくことを目標とし、併せて企業体質の強化及び今後の事業展開に備えるための内部留保の充実を考慮しつつ、利益水準をより反映した適正な配当水準の維持向上に努めることを基本方針としております。

なお、当期の配当金につきましては、上記利益配分に関する基本方針を踏まえて、1株当たり23円とさせていただきます。

次期の配当金につきましては、1株当たり23円とさせていただきます予定です。

■ キャッシュ・フローPoint

④営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は5億71百万円となりました。これは主に、たな卸資産が96百万円増加し、法人税等の支払が2億59百万円あったものの、売上債権が3億97百万円減少し、税引前当期純利益を4億83百万円計上したこと等によりです。

⑤投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は28百万円となりました。これは主に、投資有価証券の売却が4百万円あったものの、有形固定資産の取得が23百万円、投資有価証券の取得が13百万円あったこと等によりです。

⑥財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は1億3百万円となりました。これは配当金を1億3百万円支払ったことによりです。

会社の状況

■ 会社概要 (平成25年5月31日現在)

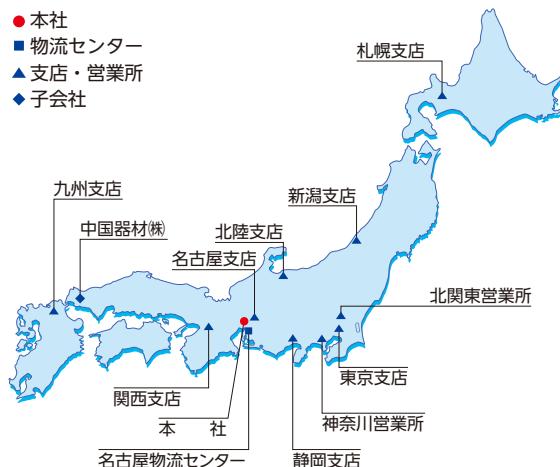
商号	株式会社 オータケ OTAKE CORPORATION
本社所在地	〒450-0002 名古屋市市中村区名駅三丁目9番11号 ☎ 052 (562) 3311
設立	昭和27年5月15日
資本金	1,312,207,200円
事業内容	管工機材の販売
社員数	227名

■ 役員一覧 (平成25年5月31日現在)

代表取締役社長	吉川 富雄
常務取締役	村井 善幸 営業本部長
取締役	堀部 浩市 管理本部長
取締役	高原 修一 関東統括部長
取締役	服部 透 中部地区担当
取締役	三浦 博隆 経理部長
常勤監査役	藤田 久光
監査役	石原 真二
監査役	秋山 三郎
監査役	大嶽 喜久雄

■ 主要事業所 (平成25年5月31日現在)

支店	札幌支店	札幌市東区	☎ 011 (784) 7711
	新潟支店	新潟市東区	☎ 025 (271) 7711
	東京支店	東京都江東区	☎ 03 (3635) 8484
	静岡支店	静岡県富士市	☎ 0545 (63) 4111
	北陸支店	富山県射水市	☎ 0766 (55) 3311
	名古屋支店	名古屋市中村区	☎ 052 (562) 3231
	関西支店	堺市美原区	☎ 072 (363) 2811
	九州支店	福岡市博多区	☎ 092 (411) 9128
営業所	北関東営業所	さいたま市見沼区	☎ 048 (687) 8111
	神奈川営業所	神奈川県平塚市	☎ 046 (228) 5711
物流拠点	名古屋物流センター	名古屋市中川区	☎ 052 (354) 7531
子会社	中国器材(株)	山口県周南市	☎ 0834 (31) 3456



株式の状況

■ 株式の状況 (平成25年5月31日現在)

発行可能株式総数	13,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式136,508株を含む)	4,284,500株
株主数	358名

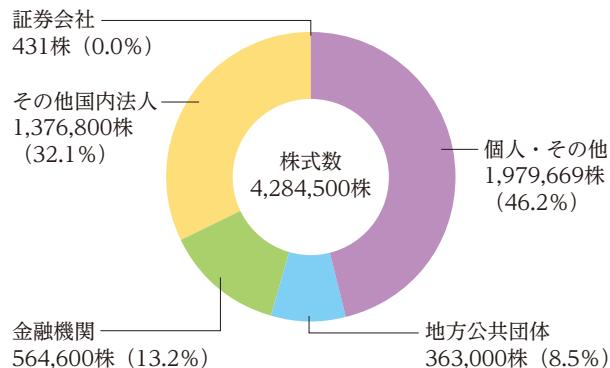
■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 株	持株比率 %
オータケ持株会	452,000	10.89
西尾市	363,000	8.75
オータケ従業員持株会	304,489	7.34
株式会社キッツ	292,100	7.04
鈴木照	277,400	6.68
尾崎美津子	148,300	3.57
岡谷鋼機株式会社	142,400	3.43
株式会社三菱東京UFJ銀行	140,000	3.37
株式会社りそな銀行	132,000	3.18
株式会社名古屋銀行	107,600	2.59

(注) 1 当社は自己株式136,508株を保有していますが、上記大株主からは除いております。

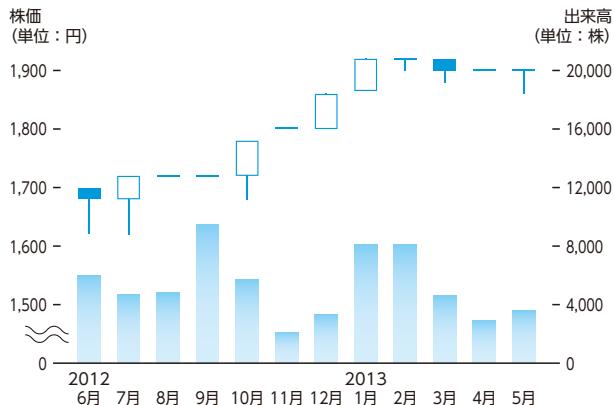
2 持株比率は発行済株式総数から自己株式を控除した数に基づき算出しております。

■ 株式分布状況 (平成25年5月31日現在)



(注) 個人・その他には自己株式136,508株を含んでおります。

■ 株価・出来高推移



■ 株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月
基準日	
定時株主総会・期末配当	毎年5月31日
中間配当	毎年11月30日
公告方法	電子公告の方法により行います。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL http://www.kk-otake.co.jp
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

・未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

当社に関する情報は、ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.kk-otake.co.jp/index.html>



トップページ



IR情報

株式会社オータケ

〒450-0002 名古屋市中区名駅三丁目9番11号
052-562-3311

